



2009～2010年度
国際ロータリーのテーマ

ロータリーの未来はあなたの手の中に

事務局・例会場 鹿児島東急イン
〒890-0053 鹿児島市中央町5-1-9F
TEL 090-5295-2736
FAX 099-251-5290
例会日 毎週木曜日 12:30～13:30

会長 松田 泉
会長エレクト 前田 正幸
幹事 井川 良仁
編集 会報・広報委員会

Eメール kswrc@po5.synapse.ne.jp ホームページ <http://www.ri2730.org/southern/>

Vol. 14-43

第617回例会 平成22年6月3日(木) プログラム「職場訪問例会 かがしま環境未来館」

前回第616回例会[5月27日(木)]の報告 於：東急イン

【会長代理挨拶】 副会長 前田正幸

24日鹿児島リパティライオンズクラブとの交流会がありサザンから15名、ライオンズから20名の参加がありました。参加のメンバーはおつかれさまでした。

3年に1回開かれる規定審議会は、今年4月に開催されました。国際ロータリー(RI)の立法機関で、RIの組織規定を改定する権限をもっています。各地区から1人選出された代表議員たちが、地区やクラブから出された立法案を審議します。立法案は、そのまま通るものもありますが、言葉や文章を修正、追加、削除して、採択されるものもあります。適切でない判断されたものは、否決されます。

立法案には、制定案と決議案の2種類があり、

制定案—RI定款細則または標準ロータリークラブ細則を改正する立法案。

決議案—組織規定を改定しない審議会決定。RI理事会に意見を表明したり、提案を行ったりする立法案です。この制定案の中で大きく改正になったのが第五奉仕部門、「新世代奉仕」を加える件だと思います。この制定案の趣旨および効果として、標準ロータリー・クラブ定款を改正し、奉仕の第五部門を追加するもので、この部門は、指導力養成活動、社会奉仕プロジェクトおよび国際奉仕プロジェクトへの参加、世界平和と異文化の理解を深め育む交換プログラムを通じて、青少年ならびに若い成人によって、好ましい変化がもたらされることを認識するものであると書かれています。

RI会長エレクトのレイ・クリンギンズミスさんは、次年度の最優先項目として「ポリオの撲滅」「青少年にかかわる活動」を掲げており、非常に納得のいく制定案だと思います。又、次年度当クラブで市内分区のライオンを主管することになっており、地区としても今まで以上に重要な事業になるかと思っています。

その他にも「Eクラブを規定する件」「直前会長の役職を設ける件」「出席規定の適用の免除に関する規定を改正する件」「移籍ロータリアンおよび元ロータリアンに関する規制を改正する件」などあります。ロータリージャパンのホームページからアクセスできますので閲覧して下さい。

【会務報告】 幹事 井川良仁

- ① 来週の例会(6/3)は、職場訪問例会のため、「かがしま環境未来館」に場所変更して行います。
- ② 市内RC次年度会長・幹事会が6/3(木)18:00～、市内RC新旧会長・幹事会が18:30～東急ホテルにて行われます。
- ③ 今年度の各委員長は、年間活動報告書の提出をお願いします。

【ゲスト】(卓話者) 2009～2010年度GSEフィナンツ
派遣メンバー 松尾志保さん

【バギオ基金寄付】5/27 池田耕夫君

【米山記念奨学会寄付】5/27 池田耕夫君

《次回(第618回)例会のお知らせ》

日時: H22年6月10日(木) 12:30～13:30

場所: 東急イン2F

プログラム: クラブ協議会(年間活動報告)

【ニコニコBOX】

- ◆前田正幸君 福迫久美子さん、おかえりなさい。
- ◆重久哲也君 個展をします。5月31日PM6:00よりオープニングパーティをしますので、ぜひご来場くださいませ。

《ニコニコBOX累計額 ¥258,833—》

【ゴメンナサイBOX】

- ◆日高恒彦君 可能なかぎり出席したいと思います。ゴメンナサイ。

《ゴメンナサイBOX累計額 ¥24,000—》

【入会式】おめでとうございます!

ふくざこクリニック

理事 福迫久美子君

職業分類: 薬剤師

推薦者: 松田泉

勤務先住所: 金生町4-6

勤務先 TEL: 224-7000



鹿児島サザンウインドロータリークラブ

2009～2010年度 クラブテーマ 「善いことを思い 実行しよう!」

本日はGSEプログラムに関し、報告のお時間をいただきまして、ありがとうございます。今回、鹿児島サザンウィンドロータリークラブにスポンサーになっていただき、フィンランドでの派遣プログラムに参加さ



せていただきました松尾と申します。渡航の際にはRCC サザンフレンズの皆さんと一緒に壮行会も設けていただき、ありがとうございました。本日は30分程度お時間いただき、研修で体験してきたことや私なりの感想などを報告させていただきたいと思います。

① 研修地と研修期間について

まずヘルシンキに到着した後は、貿易が盛んなKotkaの町を訪問しました。ここから約1週間をめぐり、Hamina, Imatra, Lappeeranta と過ごしてまいりました。途中 District Meeting のため、Iisalmi という、南の地域から車で5時間ほどかかるころへ移動・滞在し、そこで昨年秋に来日したフィンランドチームとも合流いたしました。

② 訪問先

訪問先は多岐にわたりました。まず、わたしたちの専門であり、フィンランドといえば有名な医療・福祉・教育に関係する施設、それから、地場産業（製紙工場や風力発電会社など）やその土地の伝統工業（毛糸を使った作業場や船を製造する学校など）、そして観光地とよばれる場所（サボリンナ城やロシアとのボーダーなど）を折に触れて訪問しました。

③ ロータリー関係者との活動

また、いろいろな土地を訪問する中で、各地のロータリー例会にも参加いたしました。どの地域でも、大変あたたかく私たちのことを迎えてくださり、パフォーマンスをするたびに一緒に歌ったり、私たちの国に興味を持ってくださり、大変ありがたかったです。昼例会・夜例会とも参加させていただいたのですが、私自身がとくに驚いたのが、通常日本で参加させていただいたロータリー例会と流れが全く同じであることです。そのことをコーディネーターをつとめてくれた方にお話ししたところ、「当たり前だよ」とのこと。でもその当たり前を全世界で行えることは本当に素晴らしいことだと思いました。また、2番目の訪問先である Hamina の例会では、妻木さんのホストでもある「ミカさん」の実際の職場にお邪魔し、互いの職業を学ぶ、というタイプの例会にも参加させていただき、色々なタイプの例会を見ることができ、勉強になりました。

④ District Meeting とフィンランドチームとの再4/24-25は地区大会でしたので、参加をいたしました。またそこでフィンランドチームとも合流し、楽しい時間を過ごしました。まず、地区大会で驚いたのが、会場の狭さです。2730地区の地区大会は大変大きなものでしたので、私たちもそのつもりで会場入りしたのですが、実際には小さな教会程度の大きさ100人入るかはいらぬか程度の会場でした。ただ内容は非常に有意義なもので、これまでの活動内容の報告や来年

度に向けてのことを関係の方々が発表されておりました。プレゼンテーションは非常に緊張しましたが、私たちも自己紹介のほか、フィンランド国歌やカリオレクックラレといったフィンランドの童謡などを披露しました。ここでも皆さんと一緒に歌うこともでき、大変光栄でした。夜のガバナー主催の「ボール」と呼ばれるパーティでは、着物を着用し、同じ席になった方々や Youth Exchange Program できていた方々とも交流することができ、大変有意義な時間でした。それから二日間はフィンランドメンバーと過ごすことになったのですが、ノルディックスキーの体験や、彼らがフィンランドでのクリスマスパーティを計画してくれて、Pasi さん経営のキャンプ場に泊まったり、また Teemu さんのお宅にお邪魔して、サウナのあと氷の湖に飛び込むという過酷な体験もいたしました。これ以降もエーロさんをはじめ、フィンランドのメンバーがいろいろと手配してくれて大変ありがたかったです。私も次回彼らがこちらに訪問してくれたり、来年度ドイツのチームが2730地区を訪問されると聞いておりますので、またこのご恩を返していきたいと思っています。

⑤ フィンランド生活とホストファミリー

今回研修中は District Meeting を除いて、すべてホストファミリー宅にお世話になりました。フィンランド人のありのままの生活を拝見できて大変勉強になりました。印象としてはみなさん外国籍の方のホストを経験されているので、そして、「お客さん」としてではなく、生活を共にする一員として迎えてくれる気持ちが自然に出ていることがすごいな、と思いました。3番目のホストは今回初めて受け入れを経験することによって大変心配されていたのですが、楽しい思い出を一緒に作っていければいいな、と思っています。フィンランドにもパパとママは4組もいて、私は大変幸せです。

⑥ 食べ物

通常、ヨーロッパというと、「イモとチーズ」のイメージがあったのですが、フィンランドの食生活は大変健康的で、お野菜や魚をメインにしたものが多かったです。そして、お寿司が意外にも大変浸透しており、みなさん大好きだとおっしゃっていました。そして、何よりも驚きだったことが手作りのものが多いこと。フィンランドでは、女性の就業率も大変高く、子育てや仕事をしながらの食事作りは大変かと思っていたので、冷凍食品などが多いのでは？と聞いていたのですが、日常のアフタヌーンティなどにかかせないスイーツなども手作りする方が多く、大変おいしかったです。また夏の間に積んでおいたマッシュルームやベリー類を上手に冷凍保存し、1年かけて食べるという、添加物とは無縁の食生活を送っている方がほとんどでした。それからこれは男性陣の前でお伝えしてよいかわかりませんが、男の人がよく動きます。就業時間が4時くらいまで、という方が多かったです。ロータリアンの中には既に定年を迎えた方も多かったせいもあるかもしれませんが、Papa が朝ごはんのかかりということがほとんどでした。どの家庭できいても、「できるほうがやるよ！」という答えが圧倒的で私には、

非常に好印象でした、ということをお伝えしておきます。それからフィンランドで有名なお菓子の方に「サルミアッキ」というものがあるのですが、ご存じでしょうか？これは大変人気のお菓子ですので、のちほどみなさんお試しください★

⑦ 教育について

さてここからは、私の専門でもある教育に関し、少しお話をさせていただきたいと思います。フィンランド教育は今や世界でも「お手本」としてあげられるような実績をあげておりますが、この表で示していますように、年数などを除けばシステム自体に日本と大きな差はないと思います。ただ、すべての教育が無料であるという点は、親の収入や本人の環境にかかわらず、小学校から大学まで「すべての人が平等に教育を受け」ることができ、「本人ががんばれば、どのような教育も受けられる」というすばらしい制度だと感じました。

渡航前また渡航中も、「日本の子供たちより早く帰るようなフィンランドの子供たちがよりよい成績を残せるのだろうか？」と疑問でしたが、今回のプログラムでその疑問が少しずつ解けたように思います。まずは、最初に申し上げた教育費のこと、それから学校経営に関する部分。またフィンランドでは、先生が「教える」ということだけに特化しているのも、教育の質をあげることに一役買っているのではないかと思います。私も日本の公立学校で教えた経験はないので、わかっていない部分もあるかと思いますが、日本の先生方とはとにかくクラス対応や個々の問題にかかわることが多いですが、フィンランドでは、授業以外ででた問題に関して、担任はもちろん関与しますが、スクールカウンセラーやその道の専門家がかなりの割合で関与します。また校長もかなりの割合で助け舟を出すことが多く、先生をサポートするスタッフがそろっていることも、通常の業務をしっかりこなす、という意味では非常に環境が整っていると感じました。また授業が終わり次第、先生方も自宅に戻り、お父さ

ん・お母さんに戻りますので、生活自体に余裕があるように思いました。またインターネットや電子黒板といった「子供たちにとってさらに面白いもの・興味を引き出しやすい」ツールをふんだんに使用し、先生が授業をやりやすい形が整っているように思いました。また最後の Lappeeranta でいった小学校では、EUのネットワークを利用し、スペインやイタリアなどの学校と連携し、プロジェクトを立ち上げ、互いの学校のよいところを紹介しあったり、実際に訪問して、他国との交流を深めたりしていました。これには、国や市の助成金が積極的に使用されるということです。ここでも「英語教育」が役に立つので、やはりみな英語は話せない！という気持ちになるのではないかと、校長先生ははなしておられました。「使いたいから学ぶ」「学んだことを生かせる」という点については、今私が自分の生徒に感じている課題でもあり、今回のこの学びを自分の今の環境下でどうにか生かせないかと考えているところです。

⑧ 今回の研修を通じて

今回、この GSE プログラムを通じて、自分の専門分野だけでなく、これまであまりしてこなかった異業種交流（メンバー・フィンランド滞在中の訪問先）、そしてもちろんフィンランドでの生活・体験など本当に多くのことを経験させていただきました。各企業訪問でのプレゼンテーションなども今後の社会人生活の中で生かすことのできる有意義な体験だったと思います。そして何より一緒に1カ月を過ごしたメンバーをはじめ、フィンランドチームやフィンランドで出会った方々は私の大切な宝物となりました。

帰国して2週間ほどになりますが、この体験をどのように還元していくか、が私たちのこれからの課題だと思います。企業人として、また同じ社会にいきる一員として、また RCC サザンフレンズの一員として、みなさまから頂いたこの機会・経験を存分にいかせるよう、努力してまいりますので、今後ともどうぞよろしく願いいたします。貴重なお時間をいただきまして、ありがとうございました。

出席報告	会員数	出席	出席率%
第616回5月27日(木)	50 (48)	31	64.58
第614回5月13日(木)訂正	51 (49)	42	85.71

フィンランド国旗



市内他RCプログラム ★例会時間・場所等の変更（記帳受付あり）			
月 日 曜	RC	プログラム	例会場
6月4日(金)	鹿児島RC	クラブフォーラム(クラブ奉仕・会計・SAA)	山形屋
6月7日(月)	中央RC	次年度委員会別打合せ	山形屋
6月8日(火)	東南RC	次年度各委員会協議会	サノイホテル
6月8日(火)	城西RC	三木靖名誉会員卓話	東急イン
6月9日(水)	南RC	外部卓話 三膳時子様 特定非営利活動法人霧多布湿原トラスト理事長	サノイホテル
6月9日(水)	西RC	クラブ協議会(新委員会ミーティング)	山形屋
6月9日(水)	西南RC	委員会引継ぎ	ゆうづき
6月10日(木)	東RC	クラブ協議会 1年を振り返ってI	山形屋
6月10日(木)	北RC	次年度クラブ協議会(各委員会活動方針発表)	東急ホテル